

West Mountain SBX Academy



West Mountain
SBX
Academy

競技者育成

West Mountain SBX Academy 競技者育成

- Snowboard Cross と言う競技とは？
- 日本のSBX競技団体について
- オリンピックを目指すには？
- FISのポイントシステムについて
- 道具について

Snowboard Cross という競技とは？

- 15歳からが公式大会に出場できる
- 4人～6人が同時に出走し、約1kmのコースに20個前後のバンクやキッカーなどのセクションが用意されていて、世界のトップ選手では時速60Km～70 Kmで滑走するコンタクトスポーツ
- 他種目に比べ、トップ選手になるまでに時間がかかり、これまでピークは20代後半だったが現在では各国ジュニアの育成に尽力し、低年齢化が進んでいる。
- 選手生命が比較的長い
- 複数で滑走する競技で、接触も多く、ハプニングなども起こりやすい競技である
- クロスコース内には様々なセクションがあり、その一つ一つを見れば、難易度は高くないように感じる事もあるが、全てのセクションをロスなく繋ぎ、スピードのピックアップをし続けなければ後半のセクションを通過する事が出来なくなり、ゴールまでたどり着く事が出来ない競技

日本のスノーボードクロス競技会の団体



公益財団法人全日本スキー連盟
Ski Association of Japan



それぞれに登録が必要

JSBAのチーム登録



- 各スノーボードショップなどへ登録
- 大会申し込みはデジエントリーなど
- プロとしての活動へ続く団体



SAJクラブ登録

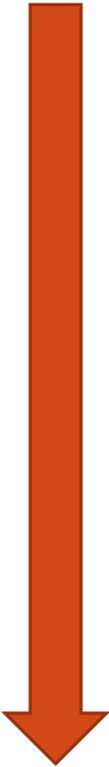


公益財団法人全日本スキー連盟
Ski Association of Japan

- 各県連から、各クラブへ所属
- 大会、合宿申し込みは各県連から
- ワールドカップ、オリンピックへ続く団体



プロになるには？



JSBA会員登録、競技者登録

JSBA公認大会出場(G1,G2,地区大会)

JSBA全日本選手権出場／プロ戦出場権利獲得

ポイント、順位によってプロ資格獲得

オリンピックに出るには？

SAJ会員登録、FIS競技者登録

FIS公認大会出場

SAJ国内強化指定選手(国内組)

SAJ強化指定選手(ナショナルチームメンバー)

ワールドカップ出場(出場資格FIS115pt)

世界選手権出場

オリンピック参加資格(WC8位以内1回)(12位以内2回、16位3回)

JOCに派遣

オリンピック出場

オリンピックを目指すために

FISポイントについて

FISポイントって何？



- FISの1年は7/1~6/30が1年の区切り
- 過去1年間のベスト2大会のポイントの平均が個人の保持ポイント
- その大会に出場する選手のメンバーによって大会のMAXポイントが変動する(360pt.260pt,など)
- 出場選手の中でトップ5人の保持ポイントにより、ポイントスケール表を元にその大会のMAXポイント＝優勝者が獲得できるポイントとなる。
- どんなに人数が多く出場していても、ポイントの高い選手が5人以上出場していなければ、大会のポイントバリューが下がり、自分へのポイントも付く事はない

ワールドカップに出るには？

FISルール

75ポイント以上保持

SAJルール

ナショナルチームメンバーの中で

115ポイント以上保持

※現在のルールでは日本人競技者は115pt保持していなければワールドカップに出場する事が出来ない

なぜ115ポイントなの？

115ポイントってどんなポイント？

- CC大会でMAXポイントレース(360ポイント)で8位セミファイナル以上に残った選手が獲得できるポイント
- 360ポイントレースでセミファイナル以上に残る事が出来るという事は、ワールドカップ選手が多く出場している大会で互角に戦えるというひとつの指標

115ptどうやって獲得するの？

- FISワールドカップ
- FIS世界選手権
- FISジュニア世界選手権

ナショナルチームメンバーの中でポイント条件をクリアした選手のみが出場可能

- FISコンチネンタルカップ(NoA,ECなど)
- FISジュニアレース
- FISレース
- FISナショナルチャンピオンシップ

県連からの申し込みで出場できる可能性がある
(枠の制限あり、優先順位はナショナルチームメンバーが優先される)

なぜ、直ぐに大きな大会に出る事が出来ないの？

- SBX競技とはスタートから全てのセクションでスピードをピックアップし、ゴールまでつなげていく競技。全てのセクションでスピードのピックアップが出来なければ後半のセクションで飛距離が足りなくなる。スピードの無い状態ではセクションを安全に滑走出来ず、危険性が高くなる
- 国内と海外では、コースレイアウトやセクションに大きな違いがあり、過去の事例でも多くの日本人選手が海外の大会に出場し大ケガをした事は多数ある
- 海外のコースでは、国内では使う事の無かった、新たに多くの技術が必要となり、より細やかな技術の調整とスピードのピックアップ動作が必要になる
- 今現在、日本国内で海外クオリティのコースを作る事が難しい(雪質、予算、スキー場ルールなど)

道具について

スノーボードクロスに使用する板はクロスボードと言われ、専用の板を使用する選手が多い。ノーズがロッカー構造、キャンバー、テールのキックはほとんど無い

現在ではクロスボードの国内販売価格は1本30万円前後になっている

- ◆クロスボードを出しているメーカーでは、板をカスタマイズする事が出来る場合もある。世界で戦うには板を2本以上用意していると良い
- ◆雪質が違う海外でのレースでは板のチューンナップを変更する必要がある。自分が主にどこの国でレースに出場するのかを考え、ストラクチャーの種類を変える必要がある。